2026年7月～9月期
近畿中小企業景況感動向(第185回)

株式会社コスモ不動産情報
西大阪研究所

産業
製造業
非製造業
建設業
小売業
ｻｰﾋﾞｽ業

景況感指標		%
上昇	黄色好転	+3～
普通	普通:白色	-2～+2
下降	青色悪化	-3～

本店(西大阪研究所)				1年更新	2025年		2026年		
No.	ｺｰﾄﾞ	産業	業種分類	企業件数	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月
1	HHSB01	サービス業	飲食	36,008					
2	HHSB02	製造業	繊維	7,710					
3	HHSB03	製造業	木材	3,607					
4	HHSB04	製造業	木製品	2,835					
5	HHSB05	製造業	家具・寝具	3,907					
6	HHSB06	製造業	建具	1,931					
7	HHSB07	製造業	パルプ	1,148					
8	HHSB08	製造業	紙	5,970					
9	HHSB09	製造業	紙製品	3,481					
10	HHSB10	サービス業	印刷・写真	8,749					
11	HHSB11	サービス業	製本業	775					
12	HHSB12	製造業	化学工業	9,819					
13	HHSB13	製造業	石油・燃料	2,225					
14	HHSB14	製造業	プラスチック	7,816					
15	HHSB15	製造業	ゴム製品	3,250					
16	HHSB16	製造業	皮革	1,232					
17	HHSB17	製造業	毛皮	1,954					
18	HHSB18	製造業	窯業	2,584					
19	HHSB19	製造業	鉄鋼	9,756					
20	HHSB20	製造業	非鉄金属	3,064					
21	HHSB21	製造業	金属	23,263					
22	HHSB22	製造業	機械	32,311					
23	HHSB23	製造業	電気	20,723					
24	HHSB24	サービス業	輸送	2,288					
25	HHSB25	製造業	精密	3,833					
26	HHSB26	製造業	貴金属	2,326					
27	HHSB27	製造業	日用雑貨	12,787					
28	HHSB28	製造業	衣料	16,908					
29	HHSB29	製造業	アクセサリー	4,316					
30	HHSB30	製造業	日用品	3,444					
31	HHSB31	製造業	自動車・バイク	15,081					
32	HHSB32	建設業	インテリア	7,285					
33	HHSB33	建設業	建築	53,440					
34	HHSB34	建設業	採石・石材	530					
35	HHSB35	建設業	建設	18,423					
36	HHSB36	サービス業	ガス	1,613					
37	HHSB37	サービス業	水道	4,038					
38	HHUN	サービス業	運送	21,569					
39	HHSB38	サービス業	陸運	10,283					
40	HHSB39	サービス業	航空	1,694					
41	HHSB40	サービス業	水運	2,121					
42	HHSB41	サービス業	運輸・運送	30,333					

2026年7月～9月期
近畿中小企業景況感動向(第185回)

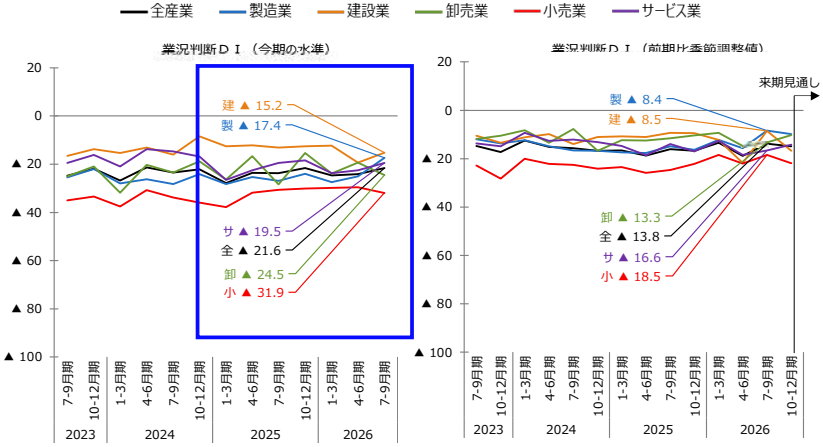
株式会社コスモ不動産情報
西大阪研究所

本店(西大阪研究所)				1年更新	2025年		2026年		
No.	ｺｰﾄﾞ	産業	業種分類	企業件数	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月
43	HHSB42	サービス業	銀行	2,813					
44	HHSB43	サービス業	証券	412					
45	HHSB44	非製造業	農業	2,183					
46	HHSB45	非製造業	畜産	908					
47	HHSB46	非製造業	林業	70					
48	HHSB47	非製造業	水産	1,357					
49	HHSB48	サービス業	医療	31,568					
50	HHSB49	サービス業	保健・薬局	2,811					
51	HHSB50	サービス業	保険	4,959					
52	HHSB51	サービス業	福祉	12,035					
53	HHSB52	サービス業	介護	10,353					
54	HHSB53	製造業	織物	2,467					
55	HHSB54	サービス業	宿泊・旅行	3,079					
56	HHSB55	サービス業	倉庫	2,872					
57	HHSB56	サービス業	学校・塾	4,301					
58	HHSB57	非製造業	産業廃棄物	7,066					
59	HHSB58	非製造業	リサイクル	4,101					
60	HHSB59	非製造業	花	3,013					
61	HHSB60	小売業	スーパーマーケット	2,577					
62	HHSB61	サービス業	娯楽	1,839					
63	HHSB62	非製造業	塗装	6,056					
64	HHSB63	製造業	自転車	3,464					
65	HHSB64	サービス業	警備・管理	3,705					
66	HHSB65	小売業	自動販売機	307					
67	HHSB66	製造業	建機	1,458					
68	HHSB67	製造業	硝子	2,349					
69	HHSB68	サービス業	スポーツ	2,783					
70	HHSB69	サービス業	宗教	5,607					
71	HHSB70	サービス業	専門サービス業	10,426					
72	HHSB71	製造業	薬品会社	2,266					
73	HHSB72	サービス業	冠婚葬祭	1,323					
74	HHSB73	サービス業	派遣業	1,895					
75	HHSB74	サービス業	理美容・エステ	1,159					
76	HHSB75	サービス業	医療法人本部	677					
77	HHSB76	サービス業	弁護士	1,553					
78	HHSB77	サービス業	情報・システム	3,354					
79	HHSB78	サービス業	映像・広告	1,758					
80	HHSB99	その他		18,036					
			合計(延べ)	575,390					

第185回　中小企業景況調査（2026年7-9月期）　近畿

１．業況感

近畿地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2026年4-6月期）より2.5ポイント増の▲21.6と2期連続して上昇した。産業別にみると、製造業、建設業、サービス業で上昇し、卸売業、小売業で低下した。

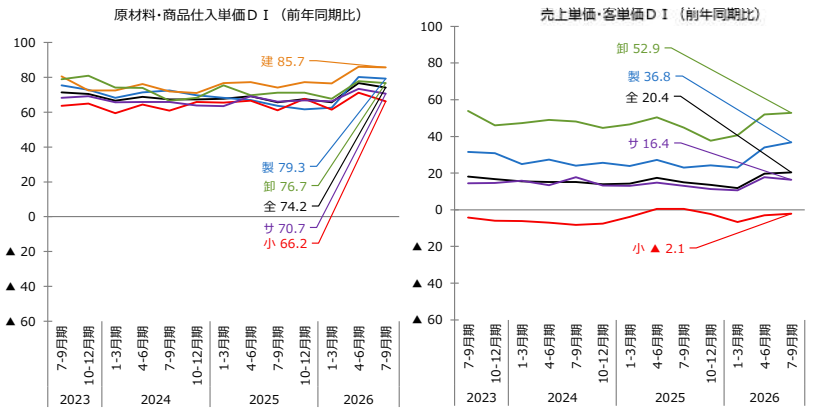


※今期の業況について「良い」「ふつう」「悪い」で質問

※前期（2026年4-6月期）と比べて「好転」「不変」「悪化」で質問

２．仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より2.4ポイント減の74.2と2期ぶりに低下した。産業別にみると、すべての産業で低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より0.7ポイント増の20.4とやや上昇し、2期連続して上昇した。産業別にみると、製造業、卸売業、小売業で上昇し、サービス業で低下した。



※前年同期（2025年7-9月期）と比べて「上昇」「不変」「低下」で質問

※前年同期（2025年7-9月期）と比べて「上昇」「不変」「低下」で質問

＜調査概要＞　調査時点は2026年9月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業
今期の調査対象企業数：18,829　有効回答企業数：17,902　有効回答率：95.1%　うち、近畿：2,527企業

※本資料の集計対象の都道府県は、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県です。

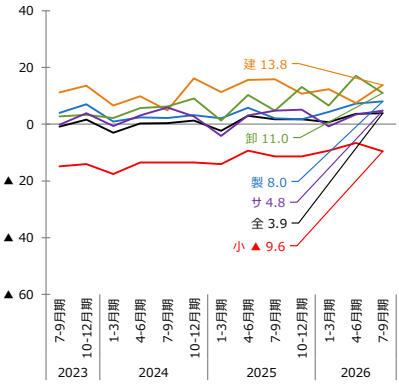
第185回　中小企業景況調査（2026年7-9月期）　近畿

中小企業の可能性を、日本の原動力に。

3．採算

採算DIは、全産業で前期より0.3ポイント増の3.9とやや上昇し、2期連続して上昇した。産業別にみると、建設業、サービス業、製造業で上昇し、卸売業、小売業で低下した。

採算ＤＩ（今期の水準）

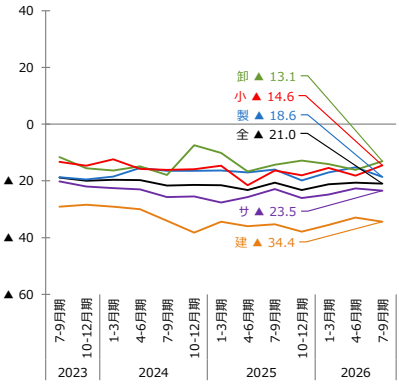


※今期の採算について「黒字」「収支トントン」「赤字」で質問

4．従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より0.4ポイント減の▲21.0とやや低下し、3期ぶりの低下となった。産業別にみると、小売業、卸売業で上昇し、製造業、建設業、サービス業で低下した。

従業員過不足ＤＩ（今期の水準）



※今期の従業員について「過剰」「適正」「不足」で質問

5．近畿の中小企業の声

	業況判断の背景	業種	
現状	中国経済の停滞及び中国企業との競合による製品の見直し等や海外の安価な部品との競争が入って来て、単価も上げにくくなってきている。	製造業	金属工作機械製造業
	内製化の推進と人材確保が進み、幅広い業務に対応できる体制が整っている。また、対応力の向上により取引業者も増加しており、業況は順調に推移している。	建設業	一般土木建築工事業
	エアコン２０２７年問題、各種商品値上げ前の駆け込み需要が続いており、売上伸張。需要先良い感が強く、下期以降要注意。経費・支払金利の上昇などの負担増が懸念される。	卸売業	電気機械器具卸売業(家庭用電気機械器具を除く)
	例年以上に平日、お盆期の来店数が伸び、業況は好調に推移。既存客の販売率の高さに加え、専従者１名による体制で販売単価を抑えた適正価格の提供が支持を集め、７月以降の客数増加と良好な売上に寄与した。	小売業	菓子小売業(製造小売)
	返済金（借入金）減少に伴い、マイクロバス購入のためリース料金が増加。全般的に売上が良くなってきている。できるだけ経費の削減を目指していく。	サービス業	旅館，ホテル
見通し	８月より市内に新倉庫を借りることができ、リカバリウェアの製造を進めていく予定にしており、金融機関からの借り入れや補助金の採択を受けることができ、今後の見通しは明るい。	製造業	ニット製アウターシャツ類製造業
	建設工事の予算が少なく発注工事も昨年より減っている。来年以降も不安である。	建設業	土木工事業(別掲を除く)
	業績は概ね堅調に推移しているが、中東情勢を受けた石油関連商品の値上げや在庫不足の影響が続いており先行きは不透明。また円安傾向が継続した場合には業績悪化要因になるため為替推移も心配している。	卸売業	その他の各種商品卸売業
	イランからの物流が既存ルートを使用できず、トルコやアゼルバイジャンなど複数国を経由する代替ルートしかなく、コストが３～５倍に上昇している。当面は在庫で賄えるが、１年後など長いスパンで見ると不安が残る。	小売業	洋品雑貨・小間物小売業
	物価高騰、賃上げが利益を圧迫、今後消費税率もテイクアウト等が１％になると飲食店の店内飲食売上減が予測され、飲食店にとっては非常に厳しい状況が予測される。	サービス業	酒場，ビヤホール

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)